



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日  
東

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所  
 コード番号 3600 URL https://www.fjx.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)山本 和良 (TEL)075(744)0071  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,632	△2.9	58	—	127	437.4	69	—
2019年3月期第3四半期	4,771	△0.8	△35	—	23	△74.9	△224	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △21百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △432百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	50.34	—
2019年3月期第3四半期	△162.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,847	9,253	79.1
2019年3月期	11,118	9,372	78.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 8,574百万円 2019年3月期 8,669百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	62.50	62.50
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				62.50	62.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,261	△2.2	99	—	169	452.2	92	—	67.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ―社(社名)―、除外 ―社(社名)―
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	1,468,093株	2019年3月期	1,468,093株
2020年3月期3Q	91,385株	2019年3月期	91,325株
2020年3月期3Q	1,376,719株	2019年3月期3Q	1,376,810株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に引き続き回復基調で推移しましたが、米中の貿易摩擦、日韓関係の悪化、英国のEU離脱問題や中東情勢の緊迫等、わが国を取り巻く国際情勢の不透明感は一層強まっております。

当社グループが関連するアパレル・ファッション業界や手芸関連業界におきましては、自然災害に加えて、消費税率の改定や暖冬傾向の影響もあって消費マインドは低調で節約志向も一層強まる傾向にあり、国内消費は全般に低調に推移しました。

当社グループでは2019年の春以降の販売価格の改正により販売単価は上昇したものの、上述の影響を受けての受注の低調や為替レート変動の影響もあって、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,632百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

一方利益面につきましては、売上高減少による減益要因はあるものの、販売価格改正による利益率の改善や人件費を含めた販管費の減少もあって、営業利益は58百万円（前年同期は35百万円の損失）、経常利益は127百万円（前年同期比437.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69百万円（前年同期は224百万円の損失）となりました。

なお、前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、旧本社建替えの意思決定に伴う減損損失および事業所改築関連費用を含め、合わせて205百万円の特別損失を計上したことが主な要因となっております。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

## 日本

当期間は、台風や豪雨などの自然災害に加えて、2019年10月の消費税率改定や暖冬傾向の影響もあって、特に当社グループが関連するアパレル・ファッション業界や手芸関連業界におきましては、消費マインドは低調で節約志向が一層強まり、国内消費も全般に低調に推移しました。

当社グループにおきましては、当第3四半期連結累計期間には、当社は2019年4月から12月まで、国内子会社は2019年2月から10月までの業績が連結されていることや、それぞれの事業分野も異なるため、状況は各社ごとに相違が見られますが、2019年の春以降に実施した価格改正による増収要因があるにもかかわらず、上述の影響を最も大きく受けている当社の受注の低調が響いて当セグメントの売上高は3,663百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

一方利益面につきましては、当社の売上高減少による減益要因はあるものの、販売価格改正による利益率の改善や販管費の減少などにより、前年同期からは大幅に改善し、セグメント損失は11百万円（前年同期は107百万円の損失）となりました。

## アジア

当セグメントに属するすべての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第3四半期連結累計期間には、2019年1月から9月までの業績が連結されております。

これにより、当社とは3ヶ月のずれがあることから、日本セグメントの状況とは異なりますが、当期間におきましても日本国内の衣料品消費の低調に伴い、同地域における日本向け衣料品の生産は全体として慎重で抑制傾向が続き、当社グループの主力である日本向け衣料品用縫い糸の受注も伸び悩みや回復遅れが続きました。なかでも中国におきましては、米国との貿易摩擦問題や国内経済の減速により、縫製業全般の事業環境はアジア地域の他国以上に厳しさが増しております。

また、当社グループの中国生産子会社におきましても、日本同様、様々なコストアップを吸収すべく、販売価格の改正を実施いたしましたが、前述の事業環境下、販売競争の一層の激化に加えて、為替換算レート変動の影響も加わって、当セグメントの売上高は969百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

一方利益面につきましては、売上高の減少に伴う減益要因もありましたが、利益率の改善や販管費の減少等によりセグメント利益は78百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて271百万円減少し、10,847百万円となりました。主な増減は、電子記録債権の増加89百万円、たな卸資産の増加184百万円、有形固定資産の増加105百万円があったものの、現金及び預金の減少440百万円、受取手形及び売掛金の減少224百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて152百万円減少し、1,593百万円となりました。主な増減は、賞与引当金の減少31百万円、事業所改築関連費用引当金の減少105百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて118百万円減少し、9,253百万円となりました。主な増減は、為替換算調整勘定の減少111百万円などがありました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期連結業績につきましては、2019年11月13日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」における通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。また、新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響は現時点では見通すことが困難なため、本業績予想には織り込んでおりません。今後、修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,939,405	2,499,271
受取手形及び売掛金	1,518,322	1,294,303
電子記録債権	143,489	232,586
たな卸資産	2,646,168	2,830,543
その他	115,414	82,448
貸倒引当金	△11,843	△12,032
流動資産合計	7,350,957	6,927,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,545,821	1,455,797
その他(純額)	829,817	1,025,419
有形固定資産合計	2,375,639	2,481,216
無形固定資産		
その他	248,003	211,652
無形固定資産合計	248,003	211,652
投資その他の資産		
投資有価証券	866,781	891,472
その他	288,846	347,211
貸倒引当金	△11,931	△11,586
投資その他の資産合計	1,143,697	1,227,097
固定資産合計	3,767,339	3,919,967
資産合計	11,118,296	10,847,088
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	460,677	451,549
未払法人税等	14,504	23,764
賞与引当金	58,621	26,625
事業所改築関連費用引当金	105,730	—
資産除去債務	13,000	5,169
その他	241,937	231,236
流動負債合計	894,470	738,345
固定負債		
役員退職慰労引当金	203,502	215,877
退職給付に係る負債	105,521	98,059
資産除去債務	39,492	34,322
その他	503,122	506,766
固定負債合計	851,638	855,026
負債合計	1,746,109	1,593,371

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,640,052	6,621,496
自己株式	△109,136	△109,249
株主資本合計	8,212,254	8,193,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	254,774	271,992
為替換算調整勘定	300,829	189,035
退職給付に係る調整累計額	△98,136	△79,832
その他の包括利益累計額合計	457,466	381,195
非支配株主持分	702,465	678,934
純資産合計	9,372,187	9,253,716
負債純資産合計	11,118,296	10,847,088

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	4,771,289	4,632,947
売上原価	3,498,870	3,313,136
売上総利益	1,272,418	1,319,810
販売費及び一般管理費	1,307,652	1,261,605
営業利益又は営業損失(△)	△35,233	58,205
営業外収益		
受取利息	6,894	9,631
受取配当金	25,678	27,604
賃貸料収入	12,392	17,437
売電収入	8,403	7,796
その他	27,249	27,113
営業外収益合計	80,617	89,583
営業外費用		
支払利息	1,843	423
租税公課	—	4,165
賃貸料収入原価	13,381	7,178
売電費用	4,910	5,322
その他	1,438	2,733
営業外費用合計	21,573	19,822
経常利益	23,809	127,966
特別利益		
固定資産売却益	334	852
投資有価証券売却益	9,936	—
特別利益合計	10,271	852
特別損失		
固定資産売却損	3,817	647
固定資産除却損	3,547	3,537
減損損失	74,843	—
事業所改築関連費用	123,029	854
特別損失合計	205,238	5,039
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△171,156	123,779
法人税、住民税及び事業税	36,490	32,857
法人税等調整額	4,626	1,892
法人税等合計	41,116	34,750
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△212,273	89,029
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,080	19,723
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△224,354	69,305



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△212,273	89,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110,450	17,218
為替換算調整勘定	△126,070	△146,045
退職給付に係る調整額	16,771	18,304
その他の包括利益合計	△219,749	△110,522
四半期包括利益	△432,022	△21,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△415,569	△6,964
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,453	△14,528

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,713,877	1,057,411	4,771,289	—	4,771,289
セグメント間の内部 売上高又は振替高	254,824	535,463	790,287	△790,287	—
計	3,968,701	1,592,874	5,561,576	△790,287	4,771,289
セグメント利益又は損失(△)	△107,052	70,958	△36,093	860	△35,233

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額860千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、当社の本社社屋建替への意思決定により、仮事務所へ移転したことに伴い、取り壊し予定の資産の帳簿価額の全額および仮事務所の資産の帳簿価額と回収可能額との差額を減損損失として特別損失に計上しております。当該事象による減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては74,542千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,663,536	969,410	4,632,947	—	4,632,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	210,171	504,837	715,009	△715,009	—
計	3,873,707	1,474,248	5,347,956	△715,009	4,632,947
セグメント利益又は損失(△)	△11,634	78,102	66,467	△8,262	58,205

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△8,262千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。